



湿地： なぜ大切にしなければならぬのか？

人々はしばしば、湿地を不用の地とみなします。つまり、水を抜いたり、埋め立てたり、焼き払ったり、何か別の用途に使ったりすべき場所と考えます。実際、さまざまな学術調査から、1900年以来、世界の湿地の64%が消失したことがわかっています。1700年当時と比べると87%が失われたと推定されます。

どうして湿地はこのように急激に減少したのでしょうか？そして、いったいなぜ、湿地は人類の持続可能な開発にとって、なくてはならないものなのでしょうか？

いたるところにある湿地

- 湿地とは、常時あるいは季節的に水をたつぷりと含む土地、あるいは水で覆われる土地のことをいいます。
- 内陸湿地には沼沢地、湖沼、湿原、川、氾濫原などがあります。
- 沿岸湿地には塩性湿地、河口、マングローブ湿地、潟湖、さらにはサンゴ礁などがあります。
- 養魚池、水田、塩田は人口の湿地です。
- 湿地の大きさは、1ヘクタール以下のものから、ブラジル、ボリビア、パラグアイにまたがるパンタナル湿地のように、アイルランドの3倍の面積を持つものまでさまざまです。

ほとんどは、一生のうちのある期間を沿岸の湿地で過ごします。

- 湿地の一種である水田で栽培される米は、30億近くの人々の主食であり、世界中で摂取される栄養の20%を占めています。

汚れた水を浄化する湿地

- 殺虫剤、農薬、産業廃棄物、鉱山廃棄物などから出る汚染物質の一部は、重金属や有害物質も含めて、湿地の堆積物や植物、海洋生物に吸収されます。
- アジアでは約20億人、ヨーロッパでは約3億8000万人の人々が、地下帯水層の水で生活しています。

淡水の供給源としての湿地

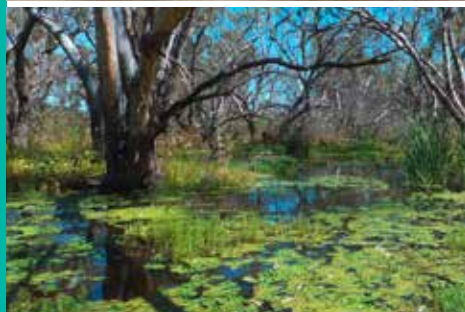
- 世界中の水の中で、淡水の占める割合はわずか3%以下で、しかもそのほとんどが凍っています。それにもかかわらず、人間は基本的な飲み水や料理用の水、体や衣類などを洗う水として、毎日一人につき20~50リットルの水を必要とします。湿地は私たちが必要とする水を供給するとともに、人類にとって重要な淡水の供給源である地下の帯水層に水を補給します。

自然の緩衝材としての湿地

- 泥炭地や川の流域の湿った草原は、自然のスポンジのような働きで降った雨を吸収し、表面に広く水をため、河川の氾濫を抑えます。このような貯水能力は、干ばつに対する備えにもなります。
- マングローブや塩性湿地、サンゴ礁はどれも、高潮のスピードと高さを抑えます。張りめぐらした根は海岸線を守り、風や波による浸食を抑え、気候変動による影響を受けにくくします。

食糧供給源としての湿地

- 人間は一年間に一人あたり平均19kgの魚を消費します。市場に出回る魚の





炭素を貯蔵する湿地

- 泥炭地は世界の陸地の3%を占めると推定されていますが、陸地に貯えられている炭素の30%は泥炭地が保持しています。これは世界中の森林に貯えられている炭素量の2倍になります。しかし、泥炭地は焼かれたり水を抜かれて農地に変えられたりすると、炭素吸収源から炭素排出源に変わります。火災や乾燥化、泥炭の採掘によって泥炭地から排出される二酸化炭素量は、化石燃料からの年間総排出量の10分の1に相当します。

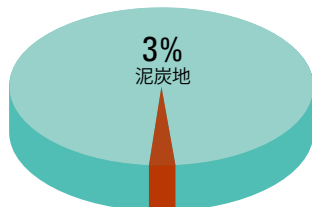
生物多様性にとってかけがえのない湿地

- 湿地には、現在わかっているだけでも10万種以上もの淡水生物が生息、生育しており、この数は常に増え続けています。アマゾンでは1999年から2009年の間に257種もの淡水魚の新種が発見されました。
- 多くの両生類や虫類はもちろん、繁殖や渡りをする鳥にとっても、湿地はなくてはならないものです。
- 固有種が生息する湿地も多くありますし、ロシアのバイカル湖や東アフリカの大地溝帯の湖のように、他では見られない生物群が生息する湿地もあります。

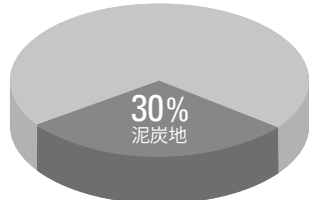
湿地がもたらす持続可能な生産と生活

- 6180万の人々が漁業と水産養殖によって直接生計を立てています。家族も含めると6億6000万人以上の生活がこれらの産業に依存しています。
- 持続可能な方法で管理された湿地は、建築用の木材、植物油、薬草、織物の材料となる植物の茎や葉、家畜の飼料を供給してくれます。

世界の陸地総面積



世界中の陸地に貯えられている炭素量



出展: TEEB: The Economics of Ecosystems and Biodiversity for Water and Wetlands

このファクトシートは、ラムサール条約が提供しています。統計の値は『Reference Sources sheet (参照元シート・別添・英語)』に掲載されている各種出版物やウェブサイトから引用したもので、個別にダウンロードできます。データについては、可能な限り正確かつ慎重に調査されたものを提供していますが、本書の内容はいかなる保証も与えるものではありません。

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる『国際的に重要な湿地に関する条約』は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。これは、世界ただ一つの湿地という単一の生態系に焦点を当てた条約です。